

第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【女子2回戦】F球場(松前公園南) 第4試合 西那須野中学校(栃木県) VS 郡中学校(長崎県)

猛打爆発！西那須野中の快進撃が止まらない!!

最後まで仲間を励まし、明るく戦った郡中!



＜西那須野中 4番邊見の先制タイムリー＞



＜仲間を信じて投げ切った郡中エース栗林＞

平成26年8月19日(火) 15:12 ~ 16:34 球審: 摂津 一塁: 鳥井 二塁: 横山 三塁: 広瀬

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
西那須野中学校(栃木県)	1	1	0	0	4	4				10
郡中学校(長崎県)	0	0	0	0	0	0				0

【バッテリー】 <先攻>(西)○ 金久保 多恵、岩本 奈々ー 邊見 咲良

<後攻>(郡)● 栗林 未空 ー 杉野 菜月

【長 打】 <本塁打>

<三塁打>

<二塁打> 熊谷 怜那、大金 奈央、山家 千怜(西)

【戦 評】

西那須野中の打球は危険である。多くの打者がボールをミートする確率が高く、放たれた打球が強いため相手のエラーを誘う。郡中も守備が悪いわけではない。西那須野中の打球の威力である。圧巻は5回と6回。打って走ってかき回し、合計8得点。点差が開いても手を抜くことなく攻め続けていた。投げてはエース金久保がバックを信じて投げ、岩本につなぐ見事な完封リレーであった。

郡中は西那須野中の容赦ない攻撃に苦しみながらも、フィールド、ベンチ、応援が一体となって最後まであきらめず、元気よく戦い抜いた。

【勝者インタビュー】

監督談

1回から最後まで攻めきることができた。5、6回の4点ずつよりも1、2回の1点ずつとれたことの方が大きい。あれで、流れに乗り、攻める気持ちが高まった。1、2回なくして5、6回はなかった。しかし、まだ残塁が多いのもっともっと打席に強い気持ちで立たなければいけない。

主将談

ひと試合を通して笑顔でプレーできたことが大きい。1回戦同様連打で得点できたのもチームに明るく攻める気持ちがあるからだと思う。ただ、2アウトからの得点力が低かったのもっと勝負強くならなければいけない。

若人よ 蒼き四国で熱くなれ!